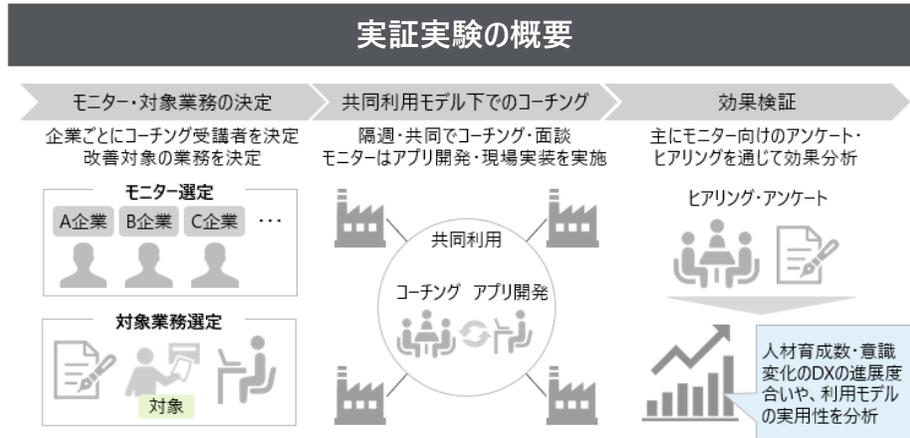


令和4年度採択案件の実証内容・成果

6-3-1. 「産業」テーマの実証内容・成果

「産業」テーマは、中規模～零細を含む区内企業におけるDXの土台づくりの再現性が検証でき、中小企業におけるDX推進のモデルを構築して水平展開の可能性が高まりました

実証内容・成果 (サマリ)



実証目的	中規模～零細の区内中小企業におけるデジタル人材育成を通じたDXの土台づくりと利用モデルの検証
実証内容	中規模～零細の区内企業を実証フィールドとし、ノーコードツール導入とコーチングにより、デジタル人材育成を通じたDXの土台づくりと中規模～零細規模での利用可能性を検証
効果測定の指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 デジタル人材の育成率100%：達成 経営効果 DX推進の影響 過半数が前向き：達成 実装可能性：DXモデル実装の取り組む自治体 1自治体：達成
実証フィールド・モニター	<ul style="list-style-type: none"> フィールド：中規模～零細の区内中小企業 5社 モニター：各社の経営陣及び各部門の社員

実証実験の成果			
スケジュール			
4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
実証内容の設計 モニター獲得	コーチング・対象業務選定・アプリ作成 アプリの運用・ブラッシュアップ	効果分析・ 成果報告	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象5社（製造業3社・薬局2社）での実証は順調であり、全受講者がプロダクトを作成し、現場で効果検証 昨年受講したバキュームモールド工業株式会社の社員がコーチングをサポートするなどステップアップが図られている 受講者の積極的な受講姿勢、知識・技術の習得による意識変化・行動変化など、中規模～零細規模においてもDXの土台づくりに資する効果が見受けられる 昨年度の取り組みが内閣官房の「Digi田甲子園」本選に選出・一般投票で10位となった 		
主要な成果	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は規模の大きい中小企業で有効性を検証したが、今年度は中規模～零細規模でも有効性が検証でき本サービスの再現性が確認できた 2年間の実証実験を通じて、中小企業におけるDX推進のためには人材育成に投資すべきという示唆、示唆にもとづく地域展開モデルを構築して今後の展開性が見えている 		

6-3-1. 「産業」テーマの実証内容・成果

参考：各社で開発したアプリ一覧

実証内容・成果（参考資料）

#	企業名	アプリ名	アプリ概要
1	東商ゴム工業株式会社	顧客打ち合わせ管理	• お客様との打ち合わせ内容を記録、管理、共有することができるアプリ
		受注管理システム	• エクセルで入力していた受注内容をシステム上で一元管理することで、簡単に社内に共有できるようになる
2	株式会社谷口化学工業所	社員間コミュニケーションアプリ	• デジタル化が遅れている社内のちょっとした活動をデジタル化することによって、デジタルに対する社員のバリアを軽減する
3	キップス株式会社	工程管理システム	• 東北にある工場の工程がこれまでタイムリーに把握できていなかったが、このアプリを利用することで管理できるようになる
		受注管理システム	• 既存のシステムで入力していた受注情報を現在のアプリにリプレースする
4	オリーブ薬局	在宅患者管理アプリ	• 患者さんを訪問した際の情報を入力したり、次回訪問の予約を記載することで、薬剤師間の情報共有をスムーズにする
5	りんご薬局	在宅患者管理アプリ	• 患者さんを訪問した際の情報を入力したり、次回訪問の予約を記載することで、薬剤師間の情報共有をスムーズにする

6-3-1. 「産業」テーマの実証内容・成果
参考：「Digi田（デジでん）甲子園」の結果

実証内容・成果（参考資料）

インターネット投票で
地方公共団体部門のトップ10に選出

+++++
ノーコードツールでIT経験ゼロの町工場社員を「DX人材」に！
（地方公共団体部門「企業の生産性向上」カテゴリ）

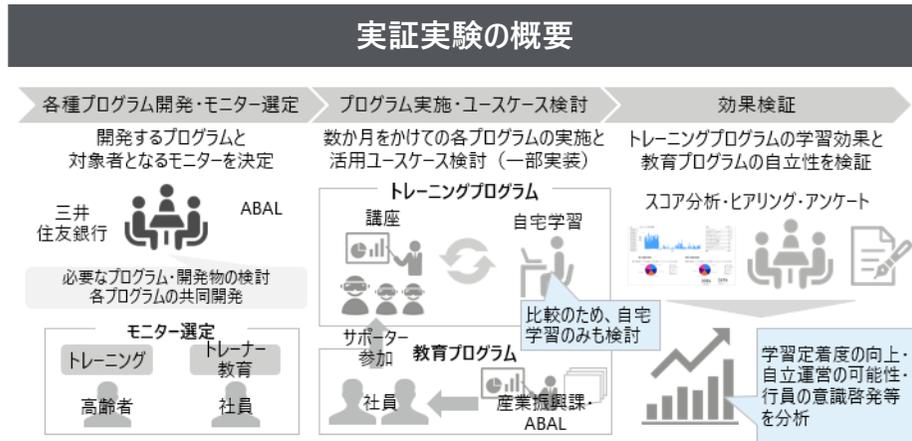


<https://youtu.be/0Y7J07AyWwU>

6-3-2. 「防犯」テーマの実証内容・成果

「防犯」テーマは、メガバンクと連携した特殊詐欺被害防止XRの運用を通じて、学習効果だけでなく、金融機関のコミュニケーションツールとしての社会実装の可能性を見出しました

実証内容・成果 (サマリ)



実証目的	特殊詐欺被害防止XRコンテンツを活用した 自立性・波及性と学習効果の高い運用モデル構築 の検証
実証内容	詐欺のリアルな状況を学習できる XRコンテンツ を利用した 特殊詐欺被害防止講座 と 繰り返し学習 ができる ウェブ版 の提供を 銀行のセミナー・活動 として提供し、学習効果の向上・定着度合いと社員の意識変化等を実証
効果測定の指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 学習効果の再現性 昨年と同程度の学習効果：達成 フォロー学習による学習定着度 講座時と同等の学習効果の再現：達成 自立性 講座を実施する社員が活用可能性を見出せたか アンケート回答平均が3.5以上：達成
実証フィールド・モニター	<ul style="list-style-type: none"> フィールド：三井住友銀行錦糸町支店 モニター：同支店の顧客65歳以上の高齢者40名程度

実証実験の成果

スケジュール

4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
------	------	--------	------

実証フィールドの選定 → 繰り返し学習アプリ開発・セミナー開催準備 → セミナー・反復学習 → 効果分析・成果報告

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に開発したVRコンテンツに加えて、繰り返し学習が可能な特殊詐欺被害防止のウェブ版を開発 1/22(月)～1/26(金)にかけて、SIC及び三井住友銀行錦糸町支店を会場としたセミナーを開催（顧客約40名、行員約10名参加） 参加者及び従事者からは「学習が必要と思った」など狙いに即した反応とともに、ウェブ版を知り合いやセミナー受講者以外に広めたいなどの副次的な波及効果が発生 さらにセミナー後の定期的な学習を顧客とのコミュニケーションを通じて行い、反復学習による学習効果の定着の確認ができたうえ、顧客との関係性構築に繋がった
主要な成果	<ul style="list-style-type: none"> XRによる講座の効果の再現性が確認できたことに加えて、仮説として立案していた反復学習による学習効果の定着が検証でき、さらなる有効性の確認ができた 本ツールを顧客との接点に用いることでコミュニケーション促進に繋がり、成約案件も出るなど金融機関のコミュニケーションツールとしての社会実装の可能性を見出した

6-3-2. 「防犯」テーマの実証内容・成果

参考：開発したプロトタイプ（特殊詐欺被害防止VR）の画面

実証内容・成果（参考資料）

コンテンツ 概要

- ・ 特殊詐欺の代表例である「オレオレ詐欺」のシチュエーションを、VR・プロの声優による音声でリアリティ性をもたせて再現
- ・ 子どもや駅員と名乗る犯人から架電があり、その架電に対する行動を選択していく「選択型サウンドノベル」

①360°見渡せるVRの世界に入り、机と電話機の前に座る情景からスタート



②犯人から架電があり、メッセージとともにシナリオ進行（プロ声優の音声付）



③詐欺被害に合うターニングポイントで選択肢を表示し、行動を選択



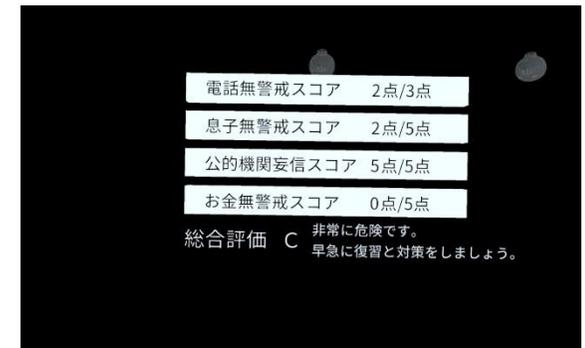
④行動選択の結果、詐欺が回避できるルートに辿り着くとGOOD画面が表示



⑤行動選択の結果、詐欺被害に遭うルートに辿り着くとBAD画面が表示



⑥シナリオが終了すると行動選択に応じて、詐欺のリスクスコアを表示・フィードバック



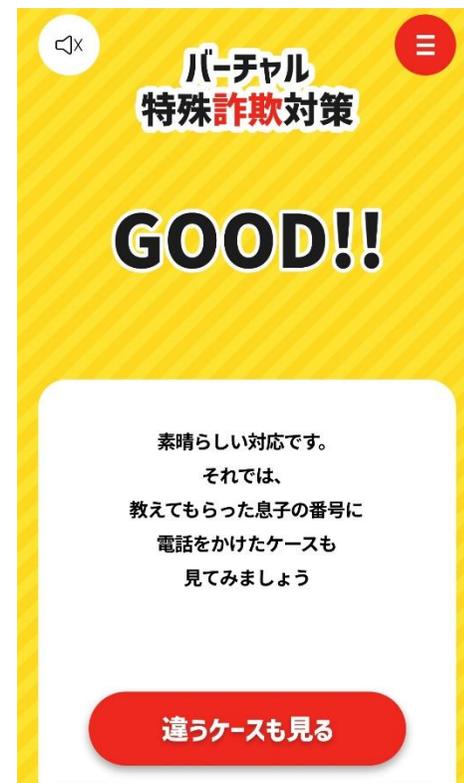
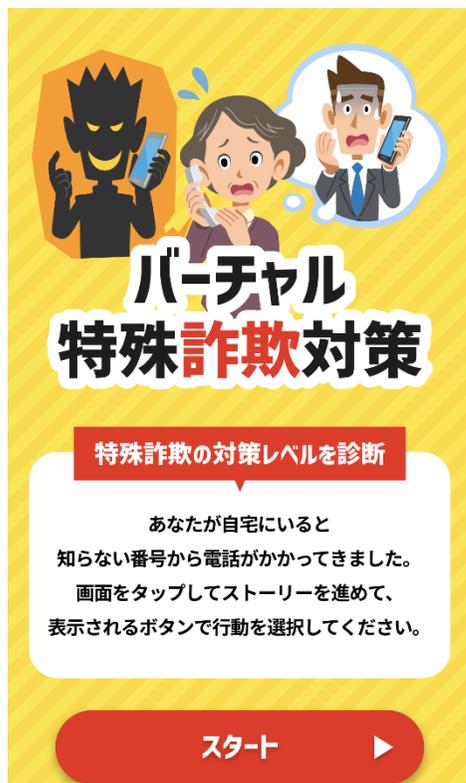
6-3-2. 「防犯」テーマの実証内容・成果

参考：開発したプロトタイプ（特殊詐欺被害防止ウェブ版）の画面

実証内容・成果（参考資料）

コンテンツ 概要

- ・ 特殊詐欺被害防止VRと同様のシナリオ・学習ポイントをWEB形式でスマートフォン等から利用可能（音声あり）



6-3-2. 「防犯」テーマの実証内容・成果

参考：特殊詐欺被害防止セミナーの様子

実証内容・成果（参考資料）

実施概要

- 1/22(月)～1/26(金)にかけて、SIC及び三井住友銀行錦糸町支店を会場としたセミナーを開催（顧客約40名、行員約10名参加）
- 参加者及び従事者からは「学習が必要と思った」など狙いに即した反応とともに、学習アプリを知り合いやセミナー受講者以外に広めたいなどの副次的な波及効果が発生


SMBCグループ

三井住友銀行 錦糸町支店 セミナーのご案内



このたび、錦糸町支店では下記セミナーを開催する運びとなりました。
ご多忙とは存じますが、みなさまお誘い合わせの上、この機会にぜひご出席ください。

参加費	無料	定員	10名
-----	----	----	-----

開催日時	会場	テーマ
2024年 1月22日（月） 14：00～15：00	墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE (ヒューリック錦糸町コロボツリ4階)	ヴァーチャル体験による 高齢者の特殊詐欺被害防止講座
2024年 1月23日（火） 14：00～15：00	墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE (ヒューリック錦糸町コロボツリ4階)	ヴァーチャル体験による 高齢者の特殊詐欺被害防止講座
2024年 1月24日（水） 14：00～15：00	墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE (ヒューリック錦糸町コロボツリ4階)	ヴァーチャル体験による 高齢者の特殊詐欺被害防止講座
2024年 1月25日（木） 14：00～15：00	三井住友銀行 錦糸町支店 5階 セミナールーム	ヴァーチャル体験による 高齢者の特殊詐欺被害防止講座
2024年 1月26日（金） 14：00～15：00	三井住友銀行 錦糸町支店 5階 セミナールーム	ヴァーチャル体験による 高齢者の特殊詐欺被害防止講座

●お申込の締切日は、セミナー開催日の前営業日とさせていただきます。
 ●セミナーは事前予約制です。定員にのみ次第終了となりますので、あらかじめご了承ください。
 ●お申込は、お電話、FAX、窓口にて承ります。FAXでお申込の場合は裏面の申込書をご記入の上、送信してください。

【セミナーに関する留意点】
 ○本案内に記載のセミナーでは、金融商品の商品性等についてご紹介を行う場合があります。
 ○また、セミナー終了後に、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。
【リスク性商品等に関する留意点】
 ○このご案内は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載していませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入や売却、保有に当たっては、手数料等をご負担いただきます。○リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。○リスク性商品を通称解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。○商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目録見書または販売用資料等でご確認ください。

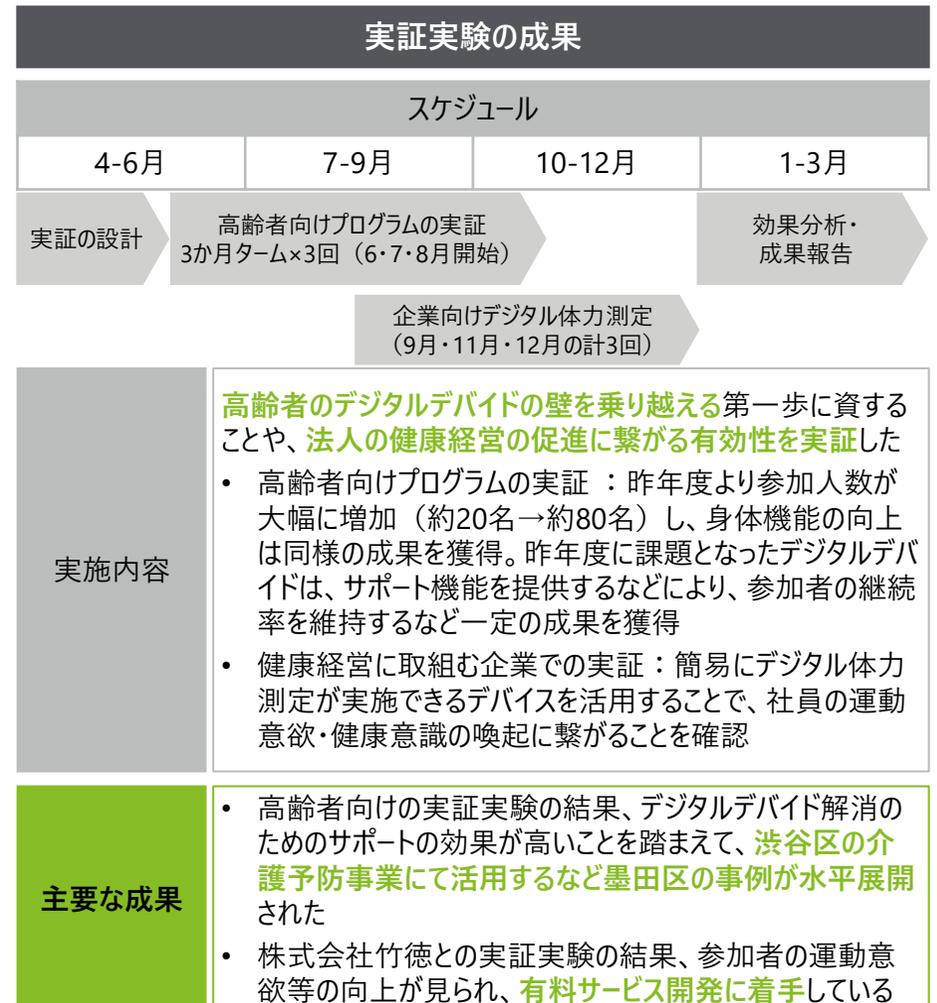
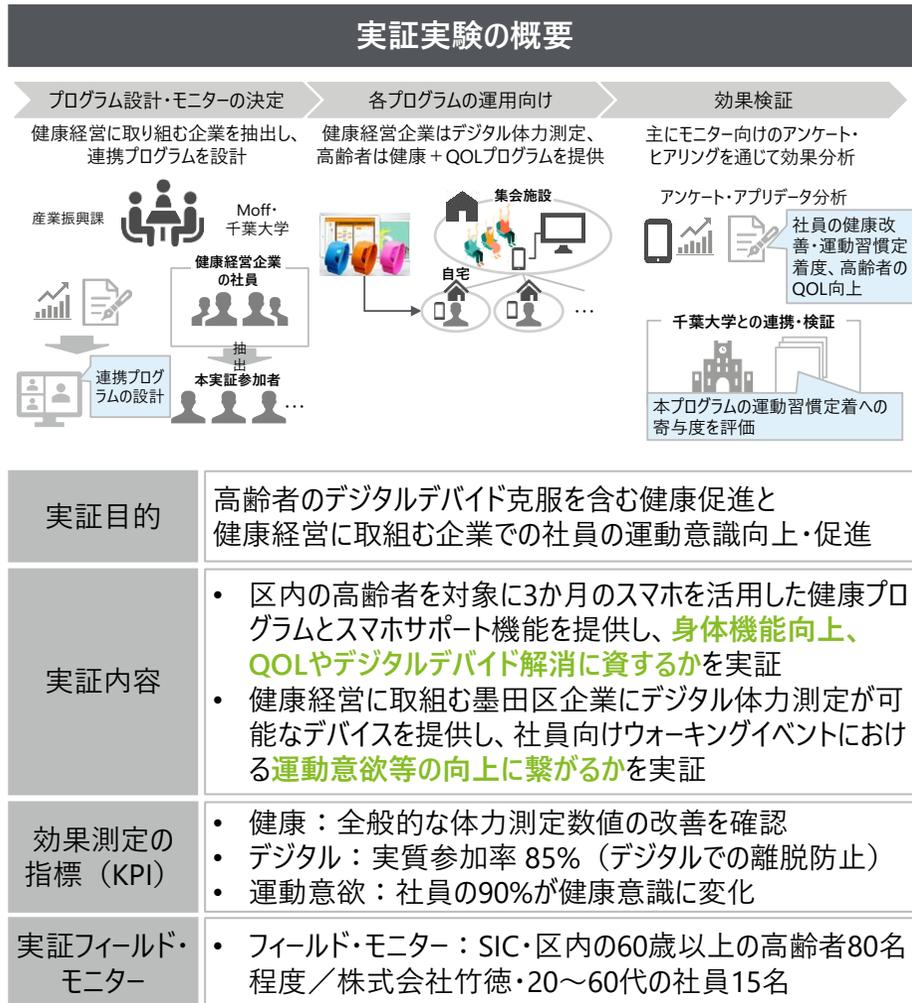




6-3-3. 「健康・福祉」テーマの実証内容・成果

「健康・福祉」テーマは、高齢者向けのB2C及び健康経営企業向けのB2B双方での有効性が得られ、他自治体への水平展開や新サービス開発などビジネス展開が加速しました

実証内容・成果 (サマリ)

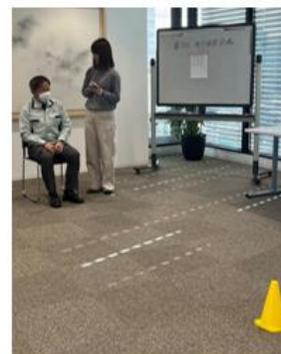


6-3-3. 「健康・福祉」テーマの実証内容・成果 参考：プログラム概要（株式会社竹徳）

実証内容・成果（参考資料）

スケジュールとデジタル体力測定の内容

ウォーキングラリー期間を含めて3度に渡り、3種類の体力測定を実施



6-3-3. 「健康・福祉」テーマの実証内容・成果

参考：プログラム概要・トレーニングの様子（高齢者向けプログラム）

実証内容・成果（参考資料）

プログラム 概要

- 「スマホで“効果”の見える運動プログラム～仲間とアンチエイジングを目指す3ヶ月間～」と題し、対面集合方式とオンライン参加方式で実施



6-3-3. 「健康・福祉」テーマの実証内容・成果 参考：販路拡大を見据えた成果報告会の開催

実証内容・成果（参考資料）

SIC SUMIDA INNOVATION CORE

- 墨田区プロトタイプ実証実験支援事業 -

テクノロジーを活用！
モフバンドで楽しく持続可能な健康経営

無料イベント

2024
2.19 Mon
18:00～19:00

こころも身体も楽しい
新しいことへの挑戦

健康経営を考えている墨田区の企業の皆様 墨田区×千葉大学×墨田区の企業・株式会社竹徳が 実証に取り組んだサービスを活用しませんか？

センサーを活用した運動・リハビリサービスを提供するスタートアップである株式会社Moffが、千葉大学と墨田区の企業・株式会社竹徳とともにシニアや働き手の健康づくりとデジタル力（りょく）アップの実証実験に取り組みました。健康経営®の講義、実証実験の成果報告、トークセッション、サービスの体験・紹介をするイベントを開催します。「健康経営に取り組んでいる／これから取り組もうとしている」墨田区の企業の皆様の御参加をお待ちしています。

【イベントスケジュール（予定）】

- 18:00-18:10 健康経営に関するミニ講義（千葉大学准教授花里 真道 氏）
- 18:10-18:40 実証実験成果報告＆トークセッション
「テクノロジーを活用した楽しく 持続可能な健康経営」
- 18:40-19:00 株式会社Moffのサービス体験・紹介
- 19:00-20:00 参加者交流会（希望者のみ）

スピーカー



株式会社 Mof 代表取締役社長
土田 泰広 氏



千葉大学准教授／予防医学センター
健康都市・空間デザインラボ
花里 真道 氏

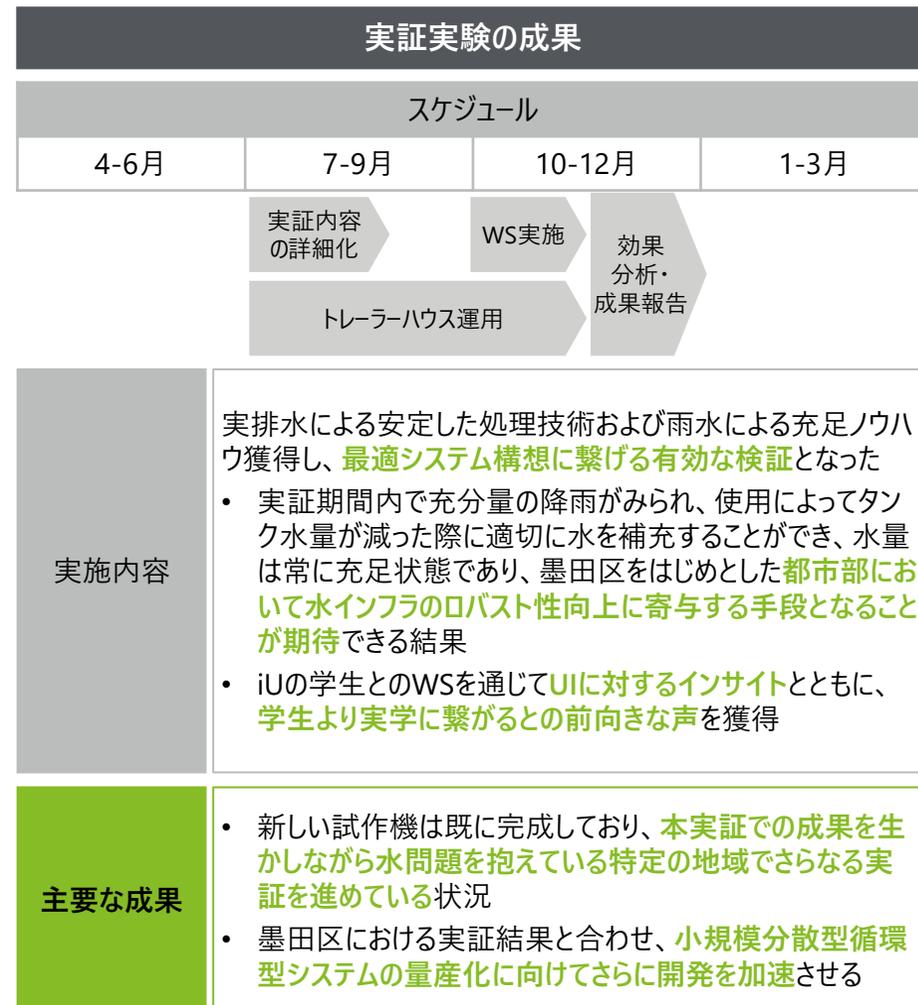
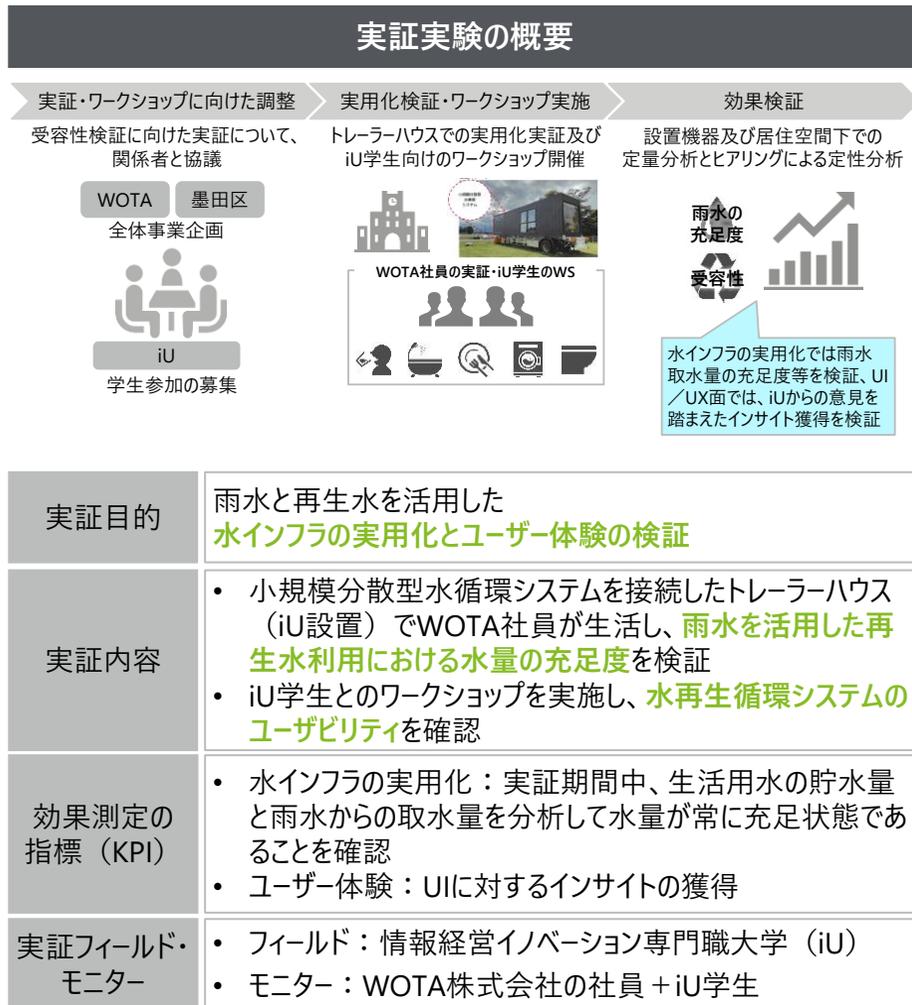


株式会社竹徳 取締役 総務部長
今井 靖 氏

6-3-4. 「環境」テーマの実証内容・成果

「環境」テーマは、都市部における雨水利用の可能性向上と、WOTA社の今後のシステム最適化・量産化に繋げる有効な検証となりました

実証内容・成果 (サマリ)



6-3-4. 「環境」テーマの実証内容・成果

参考：トレーラーハウスの設置の状況

実証内容・成果（参考資料）



6-3-4. 「環境」テーマの実証内容・成果

参考：実証実験の成果（効果検証の結果①）

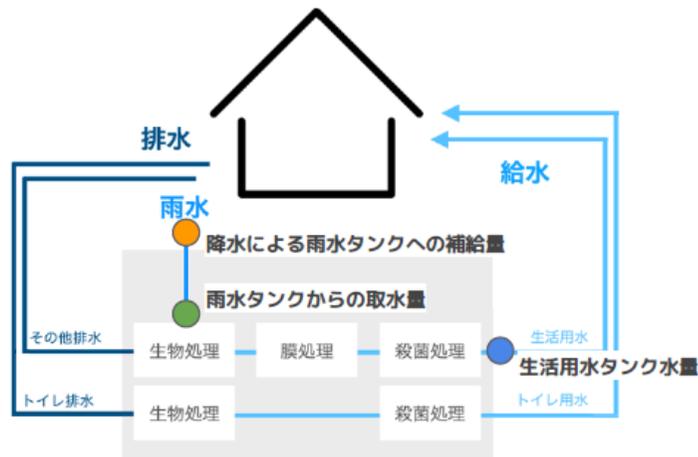
実証内容・成果（参考資料）

実証内容①

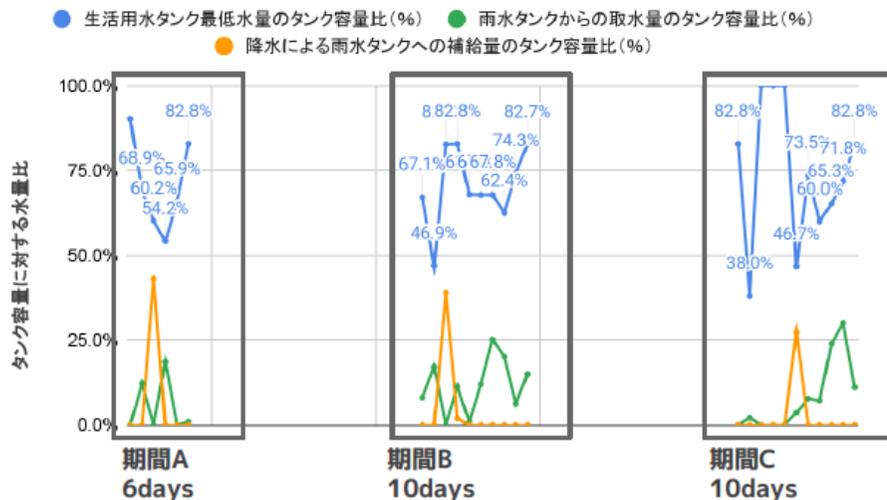
WOTA小規模分散型水循環システムを接続した居住空間内での生活利用に対する、雨水を活用した再生水利用の充足度評価

結果

検証期間中の1~2名が使用した期間内では充分量の降雨がみられ、使用によってタンク水量が減った際に適切に水を補充することができたため、**水量は常に充足状態だった**（各種センサーデータより下構成図の橙・緑・青色箇所での水量を算出）。
今後は地域や年ごとの降雨量によって充足度を確認していきたい。



生活用水の貯水量と雨水からの取水量



6-3-4. 「環境」テーマの実証内容・成果

参考：実証実験の成果（効果検証の結果②）

実証内容・成果（参考資料）

実証内容②

WOTA小規模分散型水循環システムにおけるユーザ検証

概要

場所：iU構内（教室、トレーラーハウス内）

日程：2024年10月7日（土） 11:00 - 17:30

内容：システムの利用体験、システムUXに対するブレインストーミング、設計段階のUIに対するインタビュー調査

実証協力者：iU学生8名

検証で得たインサイト

① ユーザーが期待するメリットとしては負担する上下水道料金がさがるといった**実利的なメリット**が中心に挙げられ、次いで地域・環境・未来への貢献、自由な場所での生活ができることが挙げられた。

一方でユーザーが導入する前に感じる不安は、メリットに比べより具体的な内容（**費用/保守頻度/水質/安定性/行動制限への不安**）が挙げられた。ユーザーが納得して使用できるよう、丁寧に説明すべき要素についての仮説を得た。

② 使用可能水量が認識しやすいだけでなく、随時使用した水量を確認できることによって、意識的に見る・使用している水が循環していることを認識することが期待できる

参加学生の声

“ 今後の生活で、水に対する意識が変わりました。
自分の事業等でもこの経験を活かしたいと思っています。 ”

“ 講義の中でWebサイトの作成を行ったりした為、
その学びを活かしたいと感じました。 ”

	Aグループ	Bグループ
10:50	(集合)	
11:00	説明（会社概要と本日のご説明）	
11:30	水再生システム利用体験	(休憩時間)
12:30	(休憩時間)	水再生システム利用体験
13:30	ブレインストーミング	ブレインストーミング
15:00	発表	
15:30	製品UIインタビュー	製品UIインタビュー
16:30	振り返り	
16:45	アンケート	
17:00	(解散)	

当日のタイムテーブル

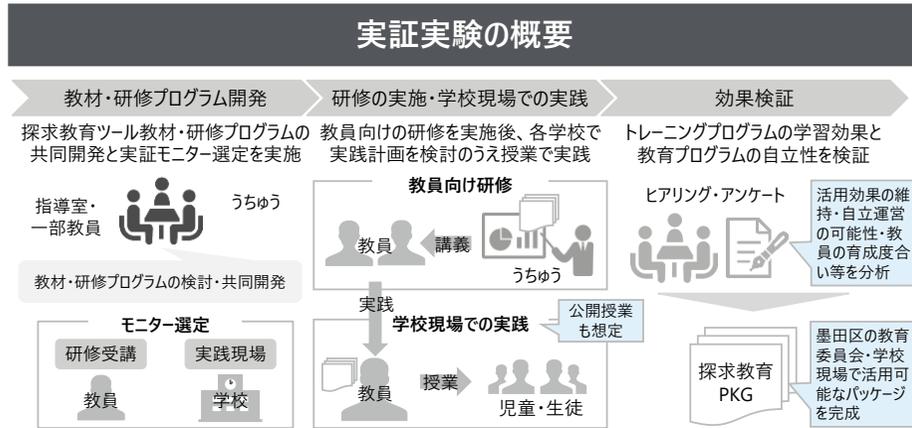


ワークショップの様子

6-3-5. 「教育」テーマの実証内容・成果

「教育」テーマは、教員向け研修を通じて教員の行動変容に繋がる教材・モデルを開発することができ、公教育現場における水平展開の可能性を見出しました

実証内容・成果 (サマリ)



実証目的	学校教育における 探求教育ツール活用の自走化 に向けた 運用モデル構築の検証
実証内容	探求教育ツールの教材・研修プログラムを開発し、 教員向けに研修を開催 する。研修開催後、 一部の学校でうちゅうが伴走支援を行いながら教員主導での授業 を行い、探求教育ツール活用の自走化に向けた運用モデル構築を検証
効果測定の指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・児童向け※：昨年と同程度の探求教育の効果の維持・再現性 達成 教員向け：活用意向60%→94.4%で達成 実践した割合33%→50%で達成 他
実証フィールド・モニター	<ul style="list-style-type: none"> フィールド：全学校（教員研修）＋伴走支援校（第四吾孺小、両国中） モニター：各学校の児童・生徒、担当教員



実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 教員向け研修を計2回開催し、アンケートでは約80%の満足度と約95%の実践意欲を確認 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 6/1(木)・8/8(火)：全区立小中学校計35校の中堅教員各1名に対して、デザイン思考の体験ワーク（第1回）と授業における実践ワーク（第2回）を実施 計2校で伴走支援を行い、授業へのデザイン思考の活用方法への助言や提供教材について高評価を獲得 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 12/7(木) 第四吾孺小 / 12/22(金) 両国中 12月に全校にフォローアンケートを実施し、伴走支援を伴い学校でも約50%が授業で活用・実践したと回答があり、実際の行動変容に繋がる研修となった
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

主要な成果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体的・協働的な探究学習を実現し、正解のない問題に対し探究的な学びを実践できるような行動変容を起こす教員研修を開発し、水平展開可能なモデル（教材と仕組み）とすることができた
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6-3-5. 「教育」テーマの実証内容・成果

参考：各研修・伴走支援校での授業の様子

実証内容・成果（参考資料）

プログラム 概要

- ・ 全区立小中学校計35校の中堅教員各1名に「デザイン思考の体験ワーク」と「授業における実践ワーク」の計2回の研修を実施
- ・ 計2校で株式会社うちゅうによる伴走支援を行い、複数回の打ち合わせを通じて、授業へのデザイン思考の活用方法への助言や教材の提供を行い、各学校の教員が探求教育（デザイン思考）を活用のうえ、自ら主導して授業を実施

教員向け研修：6/1(木)・8/8(火)

カジュアルなグループワーク・ハンズオン形式で
うちゅうが教員向けに「デザイン思考」を解説



第四吾嬬小学校での授業：12/7(木)

6年生1クラスのキャリア教育において
職業の方へのインタビュー内容を掘り下げる
事前授業でデザイン思考を活用



両国中学校での授業：12/22(金)

3年生全6クラスの探求教育授業において
「ハンバーガー屋の店員になって新しいシェイクの開発」をテーマにデザイン思考を活用



株式会社うちゅうのメンバーが各校の担当教員と月1回程度打ち合わせを実施し
授業のテーマ設定・デザイン思考の活用方法の助言、教材の提供を実施（授業当日は立会）